

10月定例教育委員会

会議録

1. 招集年月日 令和7年10月9日(木)
2. 招集の場所 海田中学校
3. 開会(開議) 令和7年10月9日(木) 9時30分宣告
4. 出席者
教育長 森山 真文 委員 林 孝 委員 米丸 禎宏
委員 大野 美恵子 委員 竹岡 美佳
5. 説明のため出席した者の職氏名
教育次長 新藤 正敏 学校教育課長 立田 春美
教育指導監 高木 和希 主幹 結城 和夏
生涯学習課長 下野 武士
6. 職務のため出席した者の職氏名
主幹 安田 昂祐
7. 議事日程
 - 第1 会議録署名者の指名について 竹岡委員
 - 第2 議 案第18号 令和7年度海田町教育委員会点検・評価
(令和6年度対象)
 - 第3 報告協議第27号 海田町学校意識調査について
 - 第4 報告協議第28号 生徒指導上の諸課題について

第5 報告協議第29号 各行事の開催及び結果等について

8. 議事の内容

10:45開始

○教育長（森山）

10月の教育委員会会議定例会を始めさせていただきます。よろしく
お願いします。会議録の署名は竹岡委員にお願いしたいと思います。
よろしくお願いします。本日の議事日程は、皆様のお手元にお配りし
ている通りでございます。

まず、議案第18号、令和7年度点検・評価を議題といたします。事
務局から説明をお願いいたします。

○教育次長（新藤）

はい。「議案第18号 令和7年度海田町教育委員会点検・評価（令
和6年度対象）」につきまして、教育委員会の議決を求めるものでご
ざいます。座って説明をさせていただきます。別冊の資料をご覧ください。
前年度に引き続き、広島大学大学院人間社会科学研究科の曾余
田浩史先生に外部評価員として、ご指導いただきました。

具体的には、令和7年8月27日に海田町役場でヒアリングを開催し、
評価結果の妥当性や、分析・意味づけの適切性などについての質疑を
通して、ご指導・ご助言をいただきました。このヒアリングでご指摘
をいただいた箇所を修正した資料を9月19日付けで曾余田先生に送

付し、ご確認いただいた上で、「本町教育委員会の点検・評価は適切に行われている」という判断をいただいております。

ヒアリングで、報告書全体を通しての指摘としては大きく3点ございました。1点目が、指標数値の結果だけではなく、「なぜ、その結果となったのか」要因分析を踏まえた記述とし、そのうえで、要因分析を踏まえて、何に取り組むのかを今後の方策に盛り込むこと。2点目が、事業を単年度で捉えて評価するのではなく、複数年度の積み重ね・歩みを踏まえて、事業の方向性を意識して評価する。また、昨年度を踏まえ、次の段階へ進むために発展させた項目に対する評価が見える形で記述すること。3点目が、学校教育と社会教育の連携を意識すること。といったご指摘がございました。これらの指摘に加え、事業それぞれでいただいた、ご指摘等もございますので、各課からご説明をさせていただきます。それでは、まず、学校教育課からご説明いたします。

○学校教育課長（立田）

学校教育課分について、大きく修正した点について説明をさせていただきます。まず、先程もありましたが、評価基準の考え方についてご指摘をいただきました。6ページをご覧ください。6ページの中程に示しております。評価基準に沿って、事業の評価を行ったわけですが、考え方といたしましては、評価指標に対して80%以上達成していればA、50～80%未満の達成状況であればB、50%未満であれば、Cとし

ておりました。しかし、ホームページ等で公表され、見て頂く人の立場で考えると、これまで通り「目標値に達しているか、いないか」サンプルに考えた方が分かりやすいというご指導を受けました。

そこで、11 ページの「グローバル人材育成事業」についてですが、評価指標のところをご覧ください。評価指標では、中学校卒業段階で、英検 3 級程度以上を達成した生徒の割合を 80%以上としておりますが、この指標に対して、令和 6 年度の状況は 78.8%。また英検 IBA のリスニング項目の平均正答率 75%以上という指標に対しては、70%という結果で、先ほどご説明した考え方では評価指標に対して両項目とも 80%以上の達成率であるために評価を A としておりました。しかし、ご指摘を受けて、再度検討を重ねた結果、これを見ていただく人にとっては「なぜ A なのか」ということが分かりにくい評価となっておりましたので、「達しているか否か」で評価をし直し、B 評価に修正いたしました。今後は英検 IBA を活用した授業改善に取り組んで参ります。

続いて、9 ページにお戻りください。カリキュラムマネジメントシートの中から取り出した項目 3 点がございしますが、「なぜこの項目を取り出したのか明確にすること」というご指摘がございました。これは「夢未来ビジョン」に基づいた、「授業研究に係るもの」ということを明記しております。今年度も授業研究を重ねて、児童生徒の学力、教職員の授業力の向上を図って参ります。

さらに、21 ページをご覧ください。「こども議会」については「よい取り組みが継続されている」ということを、自信を持って伝えることも大切ではないかというご指摘がありました。こども議会については、年々質が向上しているという意見もいただいておりますので、事業評価の1行目に、「年ごとに質の向上がみられる」という一文を加えております。

その他の箇所は多少修正等がありましたが、大きな変更はございませんでした。以上で学校教育課分を終了いたします。

○生涯学習課長（下野）

それでは、生涯学習課から修正点について説明させていただきます。

30 ページをお願いいたします。

生涯学習の推進の「公民館管理運営事業」の評価につきまして、「延べ利用者数が前年度との利用状況を踏まえた評価が必要」とのご指摘がございました。利用者が現状減少している状況を踏まえまして、評価をAからBに修正しております。また、同事業の評価指標につきまして、2点目の公民館に関する情報発信を、「多様な手段により効果的に行うことで、来館者増を目指す」としておりましたが、「指標の表現ではない」とのご指摘を、受けましたので、「公民館利用者の増加を目指すため、多様な手段により情報発信を行ったか」という表現に修正させていただきます。続いて、34 ページをお願いいたします。

「図書館管理運営事業」につきまして、事業評価の2点目において、来館者数が減少している状況がある中で、「主催講座の満足度が高いことを評価する記載をするように」とのご指摘がありました。そのため、主催講座について、「参加者数が増加するとともに、全参加者が満足、やや満足の回答を得ることができた」と追記しております。続いて42ページ、43ページをお願いいたします。

「芸術文化振興事業」につきまして、幅広い世代への機会提供ができたことについて、価値を見出しておりますが、その点について記載が必要とのご指摘がございました。そのため、評価指標に、「幅広い世代にすぐれた芸術文化に触れる機会を提供することができたか」を追加するとともに、事業評価の1点目、公共ホール活性化事業におきまして、40歳代以下の来場者の前年度の数値などを加え、前年度に比べ、幅広い世代に対し良質な音楽に触れ合う機会を提供できたことについて追記しております。続きまして、52ページをお願いいたします。

「スポーツ振興事業」につきまして、今後の方策の2点目ですが、こども議会の意見を受け、事業変更したことについて、「こども議会での議決が施策に反映されている、ということがわかるように記載させたほうがよいのではないか」というご指摘を受けましたので、冒頭に、こども議会での提案を受け、という文言を追加しております。以上で、生涯学習課からの説明を終わらせていただきます。

○教育長（森山）

はい。事務局からの説明が終わったのですが、何かご質問があればお願いします。大きく変わったのが、最初に立田から話があった評価基準の見方で、例年のことでしたが、まず生涯学習課と学校教育課で評価の見立てとしてのとらえ方が少しずれていたということがありました。そこで、今年は学校教育課の評価を生涯学習課の方に合わせました。ところが、逆にそれが分かりにくさを持たせているというご指摘でした。例えば、生涯学習課の、来館者数が何名で、それが目標の8割だったら、Aとしていました。一方学校教育課の場合は、子ども達で英検の3級をとった子達が80%という目標に対して、その80%でAというように見立てました。ただ分かりにくいですね。そこで、「評価として良くない」というご指摘を受けましたので、そこを従前のものに戻したということです。なかなか指標と、A、B、Cで評価をするということの難しさが出てきましたので、いつも通りそのままを評価してAだったのか、Bだったのかということを見るようにしています。

それから、曾余田先生については、こども議会を大きく評価していただいている、こども議会で取り組んだ結果が点検・評価の施策や、生涯学習のスポーツ事業に繋がっているところをしっかりと述べた方がいい、と強くおっしゃいましたので、そこを強調した形で生涯学習課は修正しているという状況です。

何かお気づきの点とか、ご意見があればお願いします。よろしいですか。この後、今日の議決を受け、ホームページ等への掲載をして公表としたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それではご意見がないということで、議決をいただいてもよろしいでしょうか。

原案の通り決したいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは次に参ります。

報告協議第 37 号「海田町学校教育意識調査について」を議題といたします。事務局から説明をお願ひいたします。

○教育指導監（高木）

はい。海田町学校教育意識調査について、教育委員会に報告するものでございます。座って説明します。資料は、4 ページから 6 ページが小学校、7 ページから 9 ページが中学校となっております。4 ページをご覧ください。上段の四角の枠です。上から 3 つ目の丸、こちらには、実施時期を示しております。令和 7 年 11 月 20 日（木）から令和 7 年 11 月 27 日（木）まで 1 週間を調査の期間とします。今年度もタブレット端末で、保護者が回答するようにしております。調査項目については、問 1 から問 3 が選択式です。5 段階の評価になっております。満足、やや満足、少し不満、不満、知らないという、5 段階で評価をしていただきます。問 4 については、記述式となっております。項目については、経年で分析をしておりますので、今年度も小学校の

変更点はございません。中学校については、1点変更がございます。

「部活動についての項目」を、削除しております。これは、来年度からの地域展開についても方向性を保護者に示していき、次年度以降、評価項目に再度入れて、保護者に評価をしていただきたいと思いますと思っております。

また、問4の自由記述欄については、今年度も「特定の個人などを誹謗中傷する意見を控えること」を明記します。昨年度も、この意識調査から、保護者の意見を町の施策につなげておりますので、この保護者の評価を真摯に受けとめながら、令和8年度に向けても、取り組んでいきたいと思っております。以上です。

○教育長（森山）

はい。どうでしょうか、ご意見等があればお願いします。今後の流れとして、この学校意識調査は、今年度で一旦この形式は終了にしようと思っております。理由としては、基本的には夢未来ビジョンに対しての評価を、3年間で見えていくものとして実施しております。この意識調査も多分11年ぐらい実施しております。来年度、教育大綱とともに、夢未来ビジョンの作り替えを想定しており、それに伴ってもう1回この評価対象とか項目を整理しようと思っておりますので、中身として経年で比較していくものについては、今年度で一旦区切りにしようと思っております。また、学校がとった情報について、個別の対応も含めてできるようにすることにも配慮していきたいという点から、

自由記述欄は、引き続き残すようにしたいと思います。そこは一定程度、学校への思いとか町への施策の思いを読み取れるものは読み取っていかうとしております。先ほど日程の説明をしてもらいましたが、最終的な次の報告は何月になりますか。

○教育指導監（高木）

1月になると思います。

○教育長（森山）

いかがでしょうか。引き続き、総合計画や点検・評価の中での項目としても使わせていただきながら、アンケートも集計を分析していきたいと思っております。よろしいでしょうか。

では、次に参ります。

報告協議第 39 号「各行事の開催及び結果等について」を議題といたします事務局からお願いします。

○教育次長（新藤）

報告協議第 39 号、各行事の開催等の結果等について、報告します。

行事予定につきまして学校教育課分をご説明いたします。

来週 16 日からですが、就学時健診が始まります。11 月 6 日までに合計 3 回行う予定でございます。

22 日それから 29 日の水曜日、海田中学校区公開研究会それから西中学校区公開研究会がございます。海田中学校区の方は 22 日（水）海田東小学校が会場となります。29 日（水）の海田西中学校区は西小

学校が、会場となります。ぜひご参観いただきますようお願いいたします。

11月の行事です。12日（水）広島県市町教育委員研修会が三原でございます。20日（木），教育委員会会議，総合教育会議につきまして，元々は，13日とお知らせしておりましたが，町長の都合上申し訳ないのですが，総合教育会議と合わせて20日に実施したいと思います。会場も「ふるさと館」から「海田町役場」へ変更となっております。

○生涯学習課長（下野）

生涯学習課から説明させていただきます。座って説明させていただきます。

13ページをお願いいたします。10月の行事，予定につきまして，26日（日）世代間交流イベント「みんなでモルック交流会」を海田小学校グラウンドで開催予定しております。こちらにつきましては，20チーム募集をしておりましたが，おかげさまで，全20チーム集まりましたので募集は終了しております。

続きまして，11月1日から2月1日までが，織田幹雄記念館の企画展「織田幹雄言葉展」を開催します。また，11月21日（金）から，例年恒例となっております。旧千葉家住宅の秋の特別公開を，12月2日までの期間で実施します。

今日お手元に，「織田幹雄×言葉展」と，裏面に千葉家の秋の特別公

開の予定を記載しておりますのでご覧ください。

11月30日（日）ですが、第9回ペタンク大会を海田小学校グラウンドで開催予定となっております。

一番下の欄ですが、今年度から海田東公民館で11月16日から12月14日までの土、日で、「ジュニアオータムスクール」というものを開催します。全部で9講座を開催予定で、家族で参加していただけるようなものを企画しております。生涯学習課からは以上になります。

○教育長（森山）

補足すると、このモルック大会は去年、こども議会で「世代間交流イベント」として新しく企画したものになります。去年は子供たちだけでしたか。

○生涯学習課長（下野）

そうですね。去年はグランドゴルフ大会ということで、子供だけでしたが、今回から世代間交流ということで20チーム募集をかけました。親子のチームでありますとか、40代の方でありますとか、70代ぐらいの方とかというところで、まさに世代間交流という趣旨に沿った方からご応募いただいております。スポーツ推進委員の皆さんと一緒に行っていきたいと考えております。

○教育長（森山）

なんかいろいろ広報宣伝して下さったようですね。

○教育委員（米丸）

新町でやりましたが、すごく子供も大人も考える。「これを倒せばいい」だけではなくて、点数をどう取っていくか、チームの戦略があるんですよ。自分のところのチーム戦略だとではなくて、相手と交互にやっていくので、相手が投げたらその戦略が変わる、すごく考えるんです。

○教育長（森山）

そういう意味では自治会とかですね、いろいろな所でやっていただきたいですね。

○教育委員（米丸）

自治会館の中で部屋の中でもできるようなのもあったので、天候に関係なくできる。広まっていけば、すごい頭の勉強にもなる。

○教育長（森山）

そうですね。あとは言葉の展示ということで、先週でしたかね。新聞で、千葉家のことが中国新聞で取り上げられて、写真が3枚か4枚出たんですよ。先週末、千葉家の公開がありましたが、先月の人数が400人を超えていて、例年の3倍弱くらいの来館者がありました。廿日市とか、かなり遠いところからも来てくださっているみたいで、新聞の効果はすごいなと思いましたね。それから、このジュニアオータム、これは今年からの企画で、ジュニアサマースクールというのをやっていたのですが、宮垣館長が非常に張り切っている企画をしてくれました。これは非常にサマースクールが評判だったので、同じよ

うな内容も含まれますが、親子でピザ作りだったり、クッキー作りだったりをしていました。サンドウィッチ作りを見せていただいたのですが、非常に穏やかな雰囲気の中で親子が調理室にいる姿を見させていただきました。すごくいい機会で、町長からも「取り組みだね」ということをおっしゃっていただいていますので、引き続き、取り組んでいただけたらと思っております。何かご質問がございますか。よろしいですか。秋も、いろんな行事が立て込んでおりますので、もし御機会があれば、足を運んでいただきたいと思っております。それでは以上で議題の方は終了となります。

委員の皆様からありますか。

これで10月の教育委員会定例会を終了いたします。

12:00 終了